

質 疑 回 答 書

令和4年8月2日

工事名称：帯広畜産大学畜産フィールド科学センター新営その他工事

番号	質 疑	回 答
1	搾乳舎棟の壁、天井LGSについて、開口補強の位置及び個所数が不明ですが、ご指示下さい。	<p>A：開口補強については下記の数量を見込んで下さい。</p> <p>壁開口補強</p> <p>65形 W900×H2,000 → 6か所 65形 W1,200×H800 → 1か所 65形 W1,250×H2,000 → 3か所 65形 W1,800×H2,000 → 1か所 65形 W3,490×H1,200 → 2か所 65形 W3,600×H1,200 → 1か所 100形 W1,200×H800 → 1か所 100形 W2,000×H800 → 2か所 100形 W2,700×H2,500 → 1か所</p> <p>天井開口補強</p> <p>W180×H180 → 1か所 W315×H315 → 2か所 W260×H260 → 1か所 W610×H560 → 1か所 W700×H625 → 4か所 W950×H950 → 2か所 W1,060×H670 → 1か所 W600×H600 → 14か所</p>
2	工期についてですが、鉄骨（鋼材）の納期が、10月末頃になり、建て方が12月になると思われます、その後の工程を考えると、2月28日の工期では、大変きついというか、無理な、工期だと思われませんが工期の延長は、考えられますか。	<p>A：発注工期は、入札説明書記載の工期とします。しかし、北海道国立大学機構工事請負契約基準 第23条・25条による工期変更は可能です。</p> <p style="text-align: center;">北海道国立大学機構工事請負契約基準</p>
3	取り壊し範囲で、その他移設のサイロ②、③、牛舎（カーポート）の移設も工事範囲なのでしょうかご指示ください。工事範囲であれば、図面はないのでしょうか。	<p>A：サイロ②、サイロ③については基礎天端のアンカーボルトより取り外しの上、畜産フィールド科学センター敷地内へ運搬保管とし、独立束石基礎（4箇所/基）の撤去を見込んで下さい。 サイロ仕様：1tonタンク FRP製 鉄骨架台 H=5m程度を見込んで下さい。</p> <p>牛舎（カーポート）については、8月15日頃までに、別途工事にて移設を行います。</p>
4	特別管理牛舎の解体後の処置は、考えなくて良いですか。	<p>A：取り壊し面について壁塞ぎを見込んで下さい。仕様については、LGS65下地+耐水合板 t12+波板カラー鋼板 t0.25張り程度とします。</p>

工事名称：帯広畜産大学畜産フィールド科学センター新営その他工事

番号	質 疑	回 答
5	<p>工期設定ですが、2月末完成は、非常に厳しいと思われます。理由として、鉄骨資材納期と数量から鉄骨工事終了が12月になり、その後の躯体工事が年内終了未定である事。工期延長は、可能でしょうか。</p>	<p>A：発注工期は、入札説明書記載の工期とします。しかし、北海道国立大学機構工事請負契約基準 第23条・25条による工期変更は可能です。</p> <p>北海道国立大学機構工事請負契約基準</p>
6	<p>既存建物解体工事着手可能日の予定はあるでしょうか。</p>	<p>A：特別管理牛舎 及び マニユアプラントについては、8月22日頃より解体工事着手が可能です。繁殖用牛舎 及び アンローダー上屋・その他については、9月1日頃より解体工事着手が可能です。</p>
7	<p>函面番号：【A-017】【A-023】</p> <p>屋根板金：丸馳折版の不熱ペフ材4tが別途工事となっていますが、別業者が後張りするのでしょうか。</p>	<p>A：今後、工事発注を行う可能性があります。</p>
8	<p>函面番号：【A-017】【A-023】</p> <p>屋根板金：立平葺き下地PF板20tが別途工事となっていますが、材料支給の意味でしょうか。</p>	<p>A：今後、工事発注を行う可能性があります。</p>
9	<p>函面番号：【A-052】</p> <p>室名札についてサイン図の姿図にIS-1（学生実習室）1ヶ所とありますが平面図には御指示がありません。IS-1は無しと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A：宜しいです。</p>
10	<p>函面番号：【A-26】【A-48】</p> <p>A-46図にて自動給餌機レール切替ポイント詳細図の図示がありますが、A-26図では（備品工事）の御指示があります。用途上、備品工事と考えて宜しいでしょうか。又、建築工事範囲の場合、メーカー名・仕様の御指示願います。</p>	<p>A：レール切替ポイント部品（2箇所）は備品工事としますが、支給された部品を本工事であるレールとの接続作業は見込んで下さい。</p>
11	<p>函面番号：【A-17】</p> <p>仕上表-内部の牛通路（汚染）、給餌通路（洗浄）の壁/柱欄に鉄骨柱：軟質樹脂被覆（レジン）H=1500の表記がありますが、床のレジンとは別工事となっています。柱は建築工事範囲と考えて宜しいでしょうか。又、軟質樹脂被覆（レジン）は鉄部に施工不可となります。牛欄の根巻仕様と同様にFRPIに変更しても宜しいでしょうか。</p>	<p>A：柱部分は本工事としますが、軟質樹脂被覆（レジン）のトップコート塗布 H=1,500として下さい。</p>

工事名称：帯広畜産大学畜産フィールド科学センター新営その他工事

番号	質 疑	回 答
12	<p>函面番号：【A-17】【A-18】</p> <p>仕上表-内部の壁/柱欄にある化粧フレキシブル板についてt=6の商品がありません。 t=4に変更して宜しいでしょうか。</p>	<p>A：化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0（アクリルウレタン樹脂系塗装品）として下さい。</p>
13	<p>函面番号：【K-001】</p> <p>取壊し範囲図にサイロ②、サイロ③、牛舎（カーポート）移設とありますが、参考数量にも記載されていない事から別途工事と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A：サイロ②、サイロ③については基礎天端のアンカーボルトより取り外しの上、畜産フィールド科学センター敷地内へ運搬保管とし、独立束石基礎（4箇所/基）の撤去を見込んで下さい。 サイロ仕様：1tonタンク FRP製 鉄骨架台 H=5m程度を見込んで下さい。</p> <p>牛舎（カーポート）については、8月15日頃までに、別途工事にて移設を行います。</p>
14	<p>函面番号：【K-001】</p> <p>上記が本体工事に含まれる場合は移設先の御指示願います。</p>	<p>A：NO13回答による。</p>
15	<p>函面番号：【K-003】</p> <p>特別管理牛舎の解体工事について既存取合い壁塞ぎ処理の記載がありません。処理方法について御指示願います。</p>	<p>A：取り壊し面について壁塞ぎを見込んで下さい。仕様については、LGS65下地+耐水合板 t12+波板カラー鋼板 t0.25張り程度とします。</p>
16	<p>函面番号：【S-001】【S-007】</p> <p>構造設計標準仕様、基礎伏図に平板載荷試験の御指示がありますが本体工事と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A：宜しいです。</p>